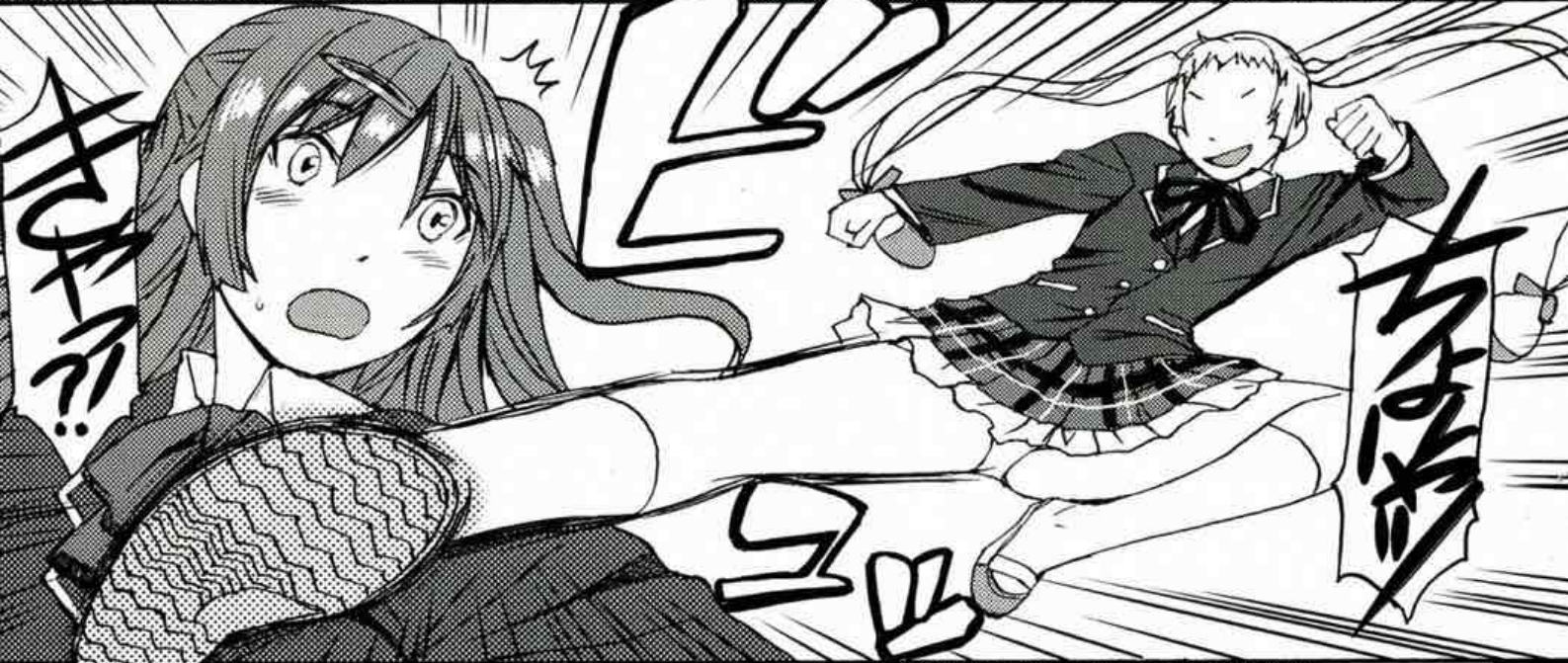


DECO and SUMMER



な か よ く け ん か し な っ !

成年間
For Adult Only
未成年の購入および閲覧を
禁じます



精霊の巫女 陵辱地獄



ちよつ…

わあああ！
なああ！
なによこれ！
却下！
却下！

…で
今度は何を
持ってきたのよ

くっくっく…
凸守は遂に真実を…
非常に危険な真実を
知ってしまったの
デース

凸守が日課として
エレクトリカルオーシャンで
知識の探求を行なっていた
或る時：
それは眼前に現れたのデース

はいはい
それで…？

不届きにも
モリサマーを名乗る女の
こんな写真を
見つけてしまったの
デース

また
身ごころ…



げっ？！

うわあ…
まさかこんなものが
まだ残っていたなんて

中二病から抜け出そうとして
新しい刺激とか求めて
風呂上がりに軽い気持ちで
写メで自画撮りした写真…

アッフした時は好評で
嬉しかったけど
直ぐに消しちゃったから
もう残ってないと
思ってたのに…

よもや
それを探す人間が…
しかもそれを見つけて
私だと特定される
なんて…



まったく…
モリサマーともあろう者が
こんな下品な真似を
するわけがないのデース

それなのに
お前はモリサマーの
名を騙って不当に
モリサマーの名譽を
汚したのデース

むむ…

かっ…
貸しなさい
それをっ！

おおっと…
その手には…
乗らないのデース



今日という今日はお前がニセサマーだということを感じ知らせてやるために…

特別な罰を与えてやるのデース

闇の深淵に潜む我が眷属よ…

今此処に甦るのデース！



くっくくく…

すぐにあの女を取り抑えるのデース



ちよっ…何なのよアンタたちはっ?!

その男たちは凸守の忠実な眷属なのデース

お前のような雌豚は同人誌のようにモブに陵辱されるのがお似合いなのデース



同人誌みたいになって適当すぎるわよ!

あ〜ん?聞こえないのデース







ああっ…
やんっ…

はあ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



おっぱいを
おもちや
だめえっ…

はああっ…
ばっ…ばかあっ…

はあっ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



ウオオ…ッ

ひっ…?!

ギッ

モッ



汚い？

やっぱりお前は
所詮偽物のモリサマー
だったのデース

はあ？
当たり前でしょ
こんな事…



ほら
口でしてくれよ

ちょっと…
そんな汚いもの
押し付けないで…



モリサマーは
慈愛に満ちた巫女…
その程度の事で
文句は言わないはずデース

むちゃくちゃ
言うわね…





あんっ…

もうっ…
いくら女の子同士
だからって
アンタいい加減に
しなさいよっ…

ヌ
チャッ!

おやおや…
この液体は…
なんデスカねえ?

そんな事で
ごまかされないの
デース

本当は
こうやって
かき回したいの
デスカ?

ああっ…

こんなに
物欲しそうに涎を
垂らして一体何を
欲しがってるの
デスカ?

ひああっ!

ズルッ

ほく

ほく



ええっ...?
ちよっと...そこはっ...
あしのうちらっ...

いっ...いやあっ...
はずかしいよっ...

...?

もま

ホィッ...

だめえっ...

うあっ

ああっ!

ひっ...?

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン



はっ...

ス

あっ...

ああっ

いっおっ

ハッ

ハッ

ハッ

やんっ...

ハッ

ハッ



やんっ...!

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

おやおやお口のほうが寂しそうデスね？

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



やはり所詮は
ニセサマーなの
デース

嫌がるどころか
自ら進んでチ○ポを
求めるような声を出して

お前のような淫乱雌豚は
そうやって誰とも分からぬ
男と交尾してるのが
お似合いなのデース

そんな淫乱雌豚には
凸守自ら
引導を渡してやるデース



混沌の深淵に潜む
昏きものたちよ...



オオオオ
我に
その荒ぶる力を
貸し給え...



モッ!
そして
このふしだらな雌豚に
罰を与えんつつ!!



うそっ...?

なにそれ...?



げえっふっふっ...
これは凸守の隠された力の一つ
ミヨルニルハンマーを
物質変換して再構築し...

肉棒の鉄槌として
体に宿す奥義なのデース



さあ…
とくと味わうが
いいのデース

ちよっ…
バカ〇坊っ…

いい加減にしないと
私ホントに
怒るからねッ…



だめなのっ…
だめなのおっ…

そんなの入れられたら
おしりの穴があっ…
ガバガバになっちゃうっ…



ああっ…
だめええっ…

なにこれっ…?
すごく硬いっ…



くっくっくっ

大人しく
力を抜いて凸守の
ぶっといち〇ポを
受け入れるのデース



かあああっ…
 すごいのおっ…

おしりっ…

おしりの
 なかにい…
 ふとくて
 かたいのが…

ねっ…
 ねじこまれて
 くるっ…

まだちっとも
 動いてないのに
 この程度で悲鳴を上げて
 どうするんデスかあ？



こ...こ...

お...お...

ん...ん...

ん...ん...



あ...あ...

ひ...ひ...

や...や...

さすがは
雌豚のケツ穴デース：
凸守のぶっといチ○ポを
啜え込んで離さないの
デース

ふもおっ...

ん...ん...

こんなことをされて
感じているなんて
お前はやっぱり
雌豚ニセサマーなの
デース



んっ

ふうんっ

ふもっ

はあっ♡

んっ♡

ズツ
ズツ
ズツ
ズツ



はあ
はあ

もう遅いのデース
凸守のチ○ポは
臨界なのデース！

やああっ

はあ
はあ

はひっ…

くううっ…
凸守のチ○ポから
マグマのような熱い奔流が
出そうデース…

えっ…？

ヤダ…バカっ
そんなの
いやあっ…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

このまま前から後ろから
間のエネルギーに満ちた子種を
ドクドクお前の体内に
射精してやるデース！



はああんっ！

やあっ…

あああっ！

ドクッ
ドクッ

お腹の中に
熱いものがいっぱい
入ってくるのおおっ！！



ほおおっ…
射精ビュルビュル
妻く気持ちいいの
デース♡

やっぱりお前は
汚い男たちの肉便器を
してる方が
お似合いなのデース

グッ
ヒッ



そのアンタ
さつきはよくも
私の足をペロペロ
してくれたわね

ったく...



あ...?

うあっ!



あ...?

あ...?

すっ



おっ!?



まら蒸れぎら
たの靴下よ



これは一体
どういうこと
デスか…?

こっ…



あ…うっ…
足の指っ…
気持ちいい…

アンタに舐め回されて
じっとり湿った足裏マ○コで
チ○ポしごいてあげるわ

ほらほらっ！
足裏マ〇コで精子
ビュッって射精なさい！



ふぐおおおおっ…!!!
おおおおおおっ!!!

おおっ！

おおっ！

ふぐっ！



あなたには未知の
快感を教えてあげる

何っ…？



ヒッ…?!

さて…
次はその
アンタの番よ





イクウツの奥から!!
チンポの奥から!!
精液押し出される
ウウツ!!

うおおああっ!?

んふふ...
他愛も無い...



なんデスと...?

なっ...?

ド! サツ



神聖なる守護精霊の
神名において
命ずる:

かの邪悪な下僕に
聖なる罰を下す
神器を我に
貸し給え...!!



あなたは
解いてしまったのよ
私の奥にあった
「封印」を...



いでよ！
神器
サイクロン！！

オオ
オオ
オオ
オオ



ひあああっ…？

そしてこれに
あなたはもう
病みつきになるのよ



邪悪な者の
悪しき力を吸い出す
究極の神器の一つよ

ふふふ…
これは私の秘めたる
力の一つ…

なっ…
何デスカその変な
機械のような物は…？

闇の力だか何だか
知らないけれど



この神器で
その邪悪な力を
吸い取ってあげるわ

キュ

ゴゴゴゴゴ



ひあっ?!

んにゃあああっ...!!
すっ!!
すごいデエスっ...!!

ズニ

ズリ

ズツ

ズリ

ズツ

ニユル

ズツ

ニユル

ニユル

ミヨルニユルがっ...
にゆるにゆるでっ...
ニユルニユルデエスっ!!

ズツ

あっ
あっ





ホラホラ
さっきのおかえしよ
あんたもぐちよぐちよに
なってるじゃないの

ぱんぱん

ひゃあんっ...
やめるデス...

ホントはかき回して
欲しいんですよ?

あうあうっ!
ちがうデス!



ふっ...
不覚なのデス...

ニセモリサマーごときに
この闇の力が屈するなんて
恥ずかしくて
マスターに顔向けできない
デース... ツ



まったく...
バカな上に...
頑固なんだから
アンタは

ズン
ズン
オオッ
オオッ
ズン

さつきからあんたのは
ミヨルニルハンマーは
私のこれに
翻弄されつばなしよ?

さて
お遊びは
ここまで…

いい加減私のこと
モリサマーだって
認めなさいよ？

あっ…
だめデース…



それっ…
抜かないで欲しいデース…

もっ…もう何でも
言う事聞くデース
からあっ…

さっきみたいに
お〇んぼいゆぼいゆぼ
させて欲しいデース…



ほおら…

ごほうびに
好きなだけ腰を
動かしていいわよ

あああんっ♡
ち〇ぼニユルニユル
止まらないデース♡

あんっ♡
イイツ♡すごいデース♡

凸守のかしい脳みそ
とろろてんになっちゃう
デース♡



さっ…さっきは
不覚を取ってしまったデスが
あれは凸守が油断したからで
さっきのはノーカンなのデース

まったく…
あんたホントに
懲りないわね…

はあ
はあ

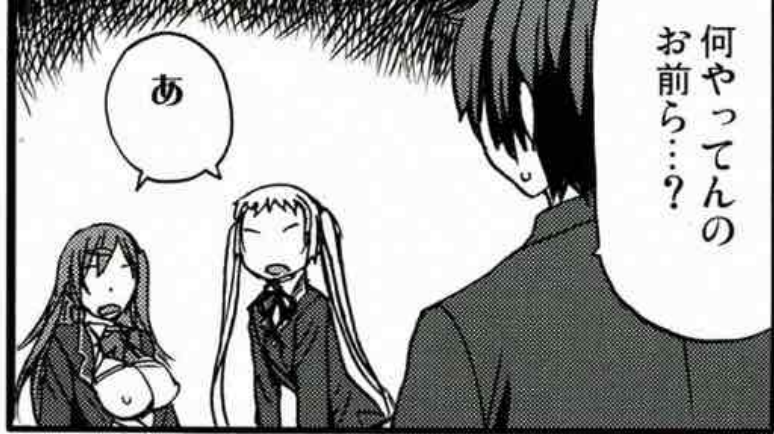
いいわ…
こっちだって何度でも
あんたの挑戦
受けて立つわよ



お前の
エーテルサイクロン
もう一度味わい…
いや耐えてみせるの
デース

強がるわね…

何だったら
私のアソコで直接あんたの
邪悪なエネルギーとやらを
吸い取ってあげても
いいのよ？





珍しく表紙を2枚描いた…
というか納得がいなくて描き直す前の
ホツ表紙。
モリサマーの顔はこっちの方が
好きですが、やっぱり自分の絵柄では
なかなか難しいですねえ…

あとがき

今回は (おそらく) マクロスFのクランクランの車以来久々のアニメ系の車をこしらえました。
最初はまさか自分が中二病の車を作ることになるとは…と思ったのですが、
モリサマーを見て久々にアニメの女の子に「かわいい!」と思えたので思わず描いてしまいました。
しかしなかなか話がまとまらずに描いてるうちにモリサマーのキャラを立てるためにどうしても
凸守を出す必要が出てきて、慣れぬ絵柄で悪戦苦闘しているうちになんだか凸守も結構可愛いな…
なんてことになって結局こういう車になりました (笑)
そういう流れから原作にいない凸守がなぜ存在するのかという理由がよく分かりました。
この車が出ている頃にはもうアニメは最終回を迎えており、その綺麗な終わり方を見れば
コンパクトに纏めるためには凸守谷くみん先輩のようなキャラが必要であったということが
如実に明らかになると思います。
丁寧に話を作りにくい1クール主流の昨今のアニメにあって、13話でもきっちり綺麗に
まとめて終わるあたり、脚本の良さが伺えるところですが、
キャラの造形も相変わらず女の子の可愛さをよく表現していて、なかなか勉強になる内容でした。
欲を言えばもうちょっとモリサマーの出番多かったらなーと思いましたけどね。
あとチアコスだけじゃなくて水着ももっと見たかった…

さて近況と来年の展望など。
まず3月に新しい単行車を出していただける事になりました。
前回の内容に増して脚とかその辺に特化した車になると思うのでまたまた不安だったりするのですが、
これがうまく軌道に乗って自分のパーソナリティとして確立できればという意味では
それなりに結果が出てくれればと思っています。
三度の飯より足が好き!という方にはぜひ。

最近ゲームというと相変わらずPSO2ばかりなんです、
まー☆10のシア武器が出ない出ない (泣)
ト本命のアヴェンジャーが何時まで経っても見つからなくて
時間ばかりが浪費されて…というのがなんとも。
しかし皆運がいいというか…自分が運が無いのか…
ウィザードリィで手裏剣やMURAMASA探す感覚と同じだと思ったら
宝くじ当てる並に確率が低いかも…
というわけのらりくらりとship1で「こくりう」という名前でやっておりますので
お見かけの際はお声などかけていただくとこれ幸いです。
診療所風のマイルームもありますのでそちらもどうぞ。

奥付
2012年12月31日
発行
燐乳フルネルソン
印刷
ユニプリント様

それではみなさ良いお年を。

2012年12月某日 こくりう

禁無断転載

Studio Cambria (bakunyu fullneron homepage)
<http://studio-cambria.sakura.ne.jp/>

mail to: aap47400@hkg.odn.ne.jp

bakunyu fullnerson

!!!CAUTION!!!

本書の未成年への販売、配布、および無断の販売、配布を禁じます。

**DO NOT SELL FOR MINORITY AND DISTRIBUTE,
AND IT IS PROHIBITION TO REPRINT, TO SELL,
AND TO DISTRIBUTE IT WITHOUT PERMISSION.**

また、上記のことを違反した場合、違反した本人も罰せられることが
ありますのでご注意ください。

**THE ABOVE-MENTIONED IS PUNISHED
AND THE TRANSGRESSOR HIMSELF MIGHT BE PUNISHED
WHEN VIOLATING IT.**